
奈落の底から帰れない

有明内海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

奈落の底から帰れない

【Nコード】

N2532BA

【作者名】

有明内海

【あらすじ】

現実《リアル》で魔術師を問う者はいない。

架空世界《パノラマ》に流れた魔術師の存在を現代の若者に知る術はないだろう。

もし知ったなら、その者は覚悟しなくてはならない。自身の運命を。

運命に抗う者が集う場所、シュヘラザード。

魔術師と知らされた久家境地《くげきょうち》は架空世界《パノラマ》と呼ばれるゲームから脱出するため、四苦八苦する。そんな

物語。

プロローグ

「ようこそ、待っていたよ少年」

暗闇から俺を包むようにして響く声。声音の響きからして女性歌劇団のような凛とした力強さを感じたが、定かではない。

「誰だよ、お前！」

唐突に歓迎を受けた俺には問う事しか頭になかった。

つまり正体不明の女性に俺は怯えている。

正体を知ろうと必死な俺の心理状態は一般的に言えば普通だろうが、この焦りや頬を滴る汗は尋常じゃない。

つかここは何処だ？ まるで深海にいるかのように、辺りから一切の光がない。

ここにもう数時間いれば本当の意味での“孤独”を知り、精神は忽ち崩壊を始めるだろう。早急に元の世界に帰してもらいたい。ここが夢ならどれだけ幸せか……つか、夢だろ。

「我は全知全能のなる神」

「神様？ おいおいおい、俺はいつからそんな架空の人物を夢見るようになったんだよ。寝小便垂れてないだろうな……」

「ふふふ、少年よ永久にあれ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2532ba/>

奈落の底から帰れない

2012年1月6日14時46分発行